

①

令和5年度
6月補正予算(案)のポイント

令和5年6月6日



静岡市

令和5年度6月補正予算(案) 17億158万円(一般会計:17億158万円)

※令和5年度予算額の累計 全会計 6,819億8,148万円 うち一般会計 3,577億7028万円

1 ポイント

「物価高騰に対する事業者への支援」、「地域経済の活性化」、「安全・安心の確保」の3つを柱に予算を編成

- 「物価高騰に対する事業者への支援」として、4月・5月補正で実施した市民生活への支援に引き続き、6月補正ではエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける中小企業や社会福祉施設などの幅広い事業者を支援
- 「地域経済の活性化」として、本市を代表するスポーツイベントであり、市内外から多くの人に参加する静岡マラソンを5年ぶりに開催するとともに、インバウンドの本格的な回復に向けて、外国人旅行客向けの観光体験コンテンツの造成・販売を実施
- 「安全・安心の確保」として、令和4年の台風15号による浸水被害を踏まえ、巴川流域等の新たな治水対策を検討するとともに、水位・氾濫予測による市民の早期避難につながる防災情報を提供するシステムの検討などを実施
- その他、当初予算編成後の事情変化により必要となった経費の増額を計上

2 予算(案)の規模

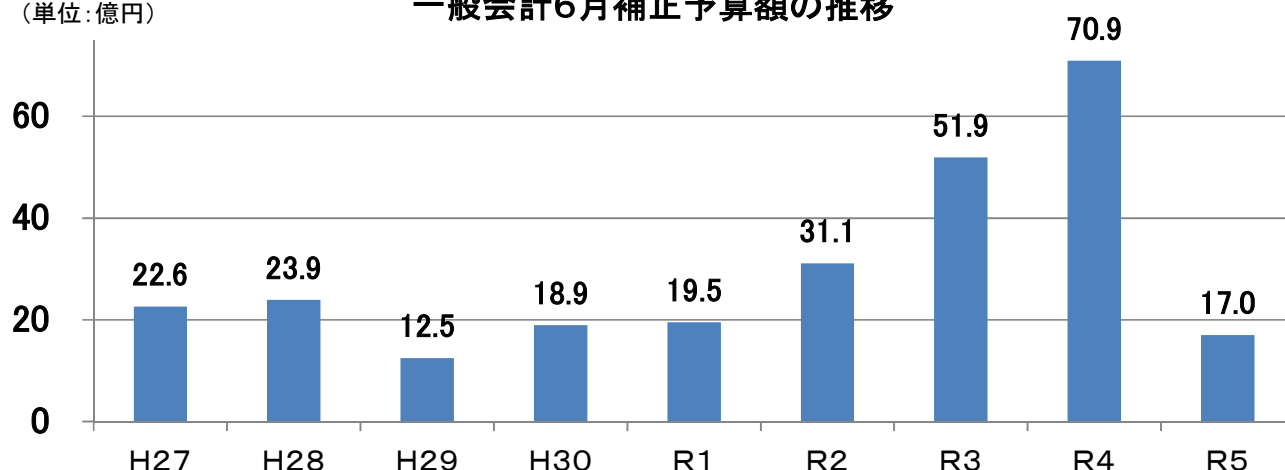
- 一般会計の補正予算の規模は約17億円の増額で、前年度と比較すると約54億円の減少

(単位:千円)

区分	令和5年度 6月補正予算額	令和4年度 6月補正予算額	増減額	増減率(%)
一般会計	1,701,578	7,092,137	△ 5,390,559	△ 76.0
特別会計	—	—	—	—
企業会計	—	613,000	△ 613,000	皆減
合計	1,701,578	7,705,137	△ 6,003,559	△ 77.9

(単位:億円)

一般会計6月補正予算額の推移



※一千万円未満は四捨五入

3 予算(案)の財源

- 特定財源としては、主に地方創生臨時交付金や道路整備事業等に伴う国庫補助金のほか、市債などを活用した。
- 一般財源としては、令和4年度の決算剰余金(繰越金)を財源とした。

4 主要事業

A 物価高騰に対する事業者への支援

877,005 千円

【要旨】

- 4月・5月補正では、国の交付金を活用し、物価高騰の影響を受ける市民生活を速やかに支援するため、低所得世帯に対する給付金やモバイル決済サービスポイント還元事業の実施などに必要な予算を計上した。
今回の6月補正では、引き続き国の交付金を活用し、国・県の支援策との調整を図った上で、物価高騰の影響を受ける中小企業者、農業者、福祉施設等の幅広い事業者に対し、価格高騰分を支援する。
- <参考> 国の交付金を活用した物価高騰対策の全体額 5,245,705千円
(内訳) 4月補正 727,800千円、5月補正 3,640,900千円、6月補正 877,005千円

【個別事業の概要】

(単位:千円)

1	事業名	中小企業等電気料金高騰対策支援事業				
	補正額	事業費	国(臨時交付金)	市債	その他	一般財源
		420,400	417,821			2,579
	目的	電気料金の高騰による中小企業等の事業活動への影響を軽減する。				
内容	電気料金の高騰の影響を受ける中小企業等に対し、高騰分を支援 ・対象者 市内に事業所を有し、高圧・特別高圧を契約している中小企業等 ・対象数 約3,300者 ・支援額 1.5円/kWh(電力量料金単価上昇分の1/2)×令和5年4月から9月までの使用量 ・対象経費 電気料金 ・上限額 30万円					
2	事業名	中小企業等工業用LPガス料金高騰対策支援事業				
	補正額	事業費	国(臨時交付金)	市債	その他	一般財源
		23,800	23,800			
	目的	工業用LPガス料金の高騰に伴う中小企業等の事業活動への影響を軽減する。				
内容	LPガス料金の高騰の影響を受ける中小企業等に対し、高騰分を支援 ・対象者 市内に事業所を有し、工業用LPガスを燃料として事業を実施する中小企業等 ・対象数 約170者 ・支援額 40円/m ³ (LPガス料金単価上昇分の1/2)×令和5年4月から9月までの使用量 ・対象経費 工業用LPガス料金 ・上限額 50万円					
3	事業名	農業者物価高騰対策支援事業				
	補正額	事業費	国(臨時交付金)	市債	その他	一般財源
		92,500	92,500			
	目的	農業用資材の価格高騰による農業者の営農活動への影響を軽減する。				
内容	農業用資材の高騰の影響を受ける農業者に対し、高騰分を支援 ・対象者 農産物販売金額が50万円以上で、次の①、②いずれかを満たす者 ①エコファーマー(「みどりの食料システム法」に基づく計画認定者) ②令和7年度末までの営農活動において、環境負荷軽減への取組を実践する意向のある者 ・対象数 約1,250戸 ・支援額 4.4%(価格高騰分の1/2)×令和4年1月から12月までの対象経費の実支出額 ・対象経費 種苗費、肥料費、飼料費、農業衛生費、諸材料費、動力光熱費、農具費、修繕費 ただし、国・県の支援を受ける費目は対象外 ・上限額 20万円					

【個別事業の概要】

(単位:千円)

4	事業名	社会福祉施設等物価高騰対策支援事業				
	補正額	事業費	国(臨時交付金)	市債	その他	一般財源
		267,000	267,000			
	目的	電気・ガス料金、食材料費の高騰による社会福祉施設等の事業活動への影響を軽減する。				
内容	<p>電気・ガス料金、食材料費の高騰の影響を受ける社会福祉施設等に対し、高騰分を支援</p> <p>1 介護サービス事業所 219,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設 ①入所施設(363か所)、②通所施設(347か所) ・利用者数 ①約11,000人、②約7,000人 ・支援額 ①18,000円/人、②3,000円/人 <p>2 障害福祉サービス等事業所 38,100千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設 ①入所施設(76か所)、②共同生活援助・福祉ホーム(138か所)、③通所施設(476か所) ・利用者数 ①約800人、②約600人、③約5,300人 ・支援額 ①18,000円/人、②13,000円/人、③3,000円/人 <p>3 軽費老人ホーム 7,920千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設 軽費老人ホーム(7か所) ・利用者数 約360人 ・支援額 22,000円/人 <p>4 救護施設 1,980千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設 救護施設葵寮(葵区与一六丁目) ・利用者数 約90人 ・支援額 22,000円/人 					
5	事業名	児童福祉施設等物価高騰対策支援事業				
	補正額	事業費	国(臨時交付金)	市債	その他	一般財源
		73,305	73,305			
	目的	電気・ガス料金、食材料費の高騰による児童福祉施設等の事業活動への影響を軽減する。				
内容	<p>電気・ガス料金、食材料費の高騰の影響を受ける児童福祉施設等に対し、高騰分を支援</p> <p>1 私立こども園等 70,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設 私立認定こども園、保育所、幼稚園、認可外保育施設など(237か所) ・利用者数 約17,500人 ・支援額 4,000円/人 <p>2 児童養護施設等 2,005千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設 ①静岡ホーム(葵区井宮町)、②静岡乳児院(葵区有永町)、③千代田寮(葵区上足洗二丁目) ・利用者数 ①約65人、②約20人、③約30世帯 ・支援額 ①23,000円/人、②24,000円/人、③1,000円/世帯 <p>3 里親家庭 780千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 静岡市から里親委託を受けている里親 ・里子人数 約60人 ・支援額 13,000円/人 <p>4 民間放課後児童クラブ 520千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設 市内の民間放課後児童クラブ(14クラブ) ・利用者数 約400人 ・支援額 1,300円/人 <p>※食事を提供しない一部の施設については、食材料費を支援対象から除外</p>					

B 地域経済の活性化

125,500 千円

【要旨】

- 平成26年から開催してきた静岡マラソンは、市内外から多くの人に参加する本市を代表するスポーツイベントであるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、平成31年の開催を最後に休止を余儀なくされてきた。
令和6年3月に、5年ぶりとなる静岡マラソンを行政と民間が共働して開催し、交流人口の拡大や本市の地域資源のPRを通じた地域経済の活性化を図るとともに、市民がスポーツに参加する機会を提供し、スポーツ振興や健康増進を図る。
- 清水港に寄港する大型外国客船が増加するなどインバウンド需要が高まる中、久能山東照宮や静岡浅間神社等と連携した外国人旅行者向けの特別な観光体験コンテンツを造成・販売し、海外からの誘客を促進することで、市内への宿泊客数の増加や消費単価の拡大を図る。

【個別事業の概要】

(単位:千円)

事業名	静岡マラソン開催事業					
	補正額	事業費	国・県	市債	その他(繰入金)	一般財源
		100,000			615	99,385
目的	市内外から多くのランナーが参加するマラソン大会を開催することで、地域経済の活性化を図るとともに、市民のスポーツ振興及び健康増進につなげる。					
内容	静岡マラソンを開催する実行委員会への負担金 ・実施主体 静岡マラソン実行委員会 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休止していた大会を早期に再開するため、これまでの民間主体の実施体制から、行政と民間が共働して実施する体制へと変更する。 ・開催日 令和6年3月中旬 ・定員(予定) フルマラソン 12,000人、ファンラン(11.6km) 1,200人、小学生(1.6km) 600人 ・関連事業 スポーツツーリズムツアー、マラソンクリニックなどを予定					
	【静岡マラソンの概要】 毎年市内外から12,000人以上が参加する本市を代表するスポーツイベント。 ランナーとして大会に参加するだけでなく、沿道での観戦や運営ボランティアなど、様々な形態で多くの市民が大会に関わっている。 <静岡マラソン2019実績> ・開催日 平成31年2月24日(日) ・参加者 フルマラソン:12,379人 ※参加者のうち、約6割が県外からの参加者 ファンラン(11.6km):1,239人 小学生(1.6km):602人 沿道観戦者:約28,000人、運営ボランティア:約3,400人 ・市内への経済波及効果 15.6億円 (静岡マラソン実行委員会事業報告書より)					



静岡マラソン2019

【個別事業の概要】

(単位:千円)

	事業名	観光再始動事業			
	補正額	事業費 25,500	国(10/10、1/2) 17,750	市債	その他 7,750
	目的	外国人旅行客向けの観光体験コンテンツを造成し、誘客を促進することで、市内宿泊者数の増加や消費単価の拡大を図る。			
2	内容	<p>外国人旅行客向けの観光体験コンテンツを造成する実行委員会への負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体 静岡市観光再始動事業実行委員会 ・連携先 久能山東照宮、静岡浅間神社、日本平観光協会、旅行者等 ・実施事業 久能山東照宮、静岡浅間神社の特別公開や日本平の夜景等を活用した特別な体験コンテンツ※を組み込んだツアーの造成及び販売 <p>①モニターツアーを実施し、効果を検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型外国客船乗客向けのワンデイモニターツアーの実施 実施期間 令和5年9月～11月 ・外国人個人旅行客向けの宿泊モニターツアーの実施 実施期間 令和5年10月～12月 <p>※特別な体験コンテンツの例</p> <p>普段立ち入ることのできない建物や場所での鑑賞機会や体験を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久能山東照宮 正殿正式参拝体験 ・静岡浅間神社 社殿工事作業ヤード特別公開 ・日本平 富士山夕夜景鑑賞 など <p>②旅行商品として本格的に販売するための試験販売を実施 販売時期 令和6年1月開始</p> <p>③外国人旅行サイトでの旅前情報発信や船会社への営業活動を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアーPR動画作成 ・SNSを活用した海外向け情報発信 			



久能山東照宮／静岡浅間神社

C 安全・安心の確保

126,181 千円

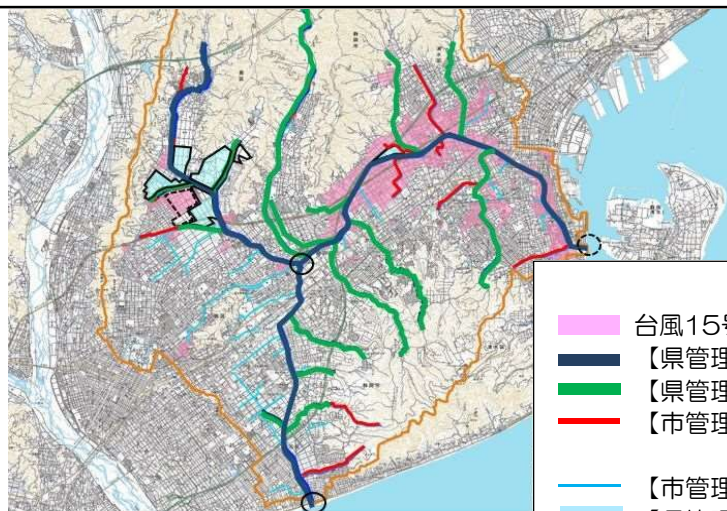
【要旨】

- 令和4年の台風15号による浸水被害を踏まえ、巴川流域等の脆弱性の分析に基づき、遊水地等の既存施設の運用方法の見直しといった即効性のある新たな対策を検討し、早急に治水対策に反映するとともに、巴川の河川管理者である県にも提案していく。
加えて、災害発生時における早期の避難行動につなげるため、気象予報、雨量、河川水位等の情報を基に、河川の水位や氾濫を予測し、その情報を提供するシステムを導入することで、防災対策の強化を図る。
- 市内での官民の建設工事等における発生土のうち、利活用のできない土砂については、市内に大規模な受入先がないことから、その多くを市外に搬出している。また、今後の災害により発生する土砂の処分先についても確保が課題となっている。
そのため、民間からの公募により、安全性の高い建設発生土の受入地を市内に確保することで、建設発生土を安定的に受け入れるとともに、災害発生土の受け入れに備える。

【主な個別事業の概要】

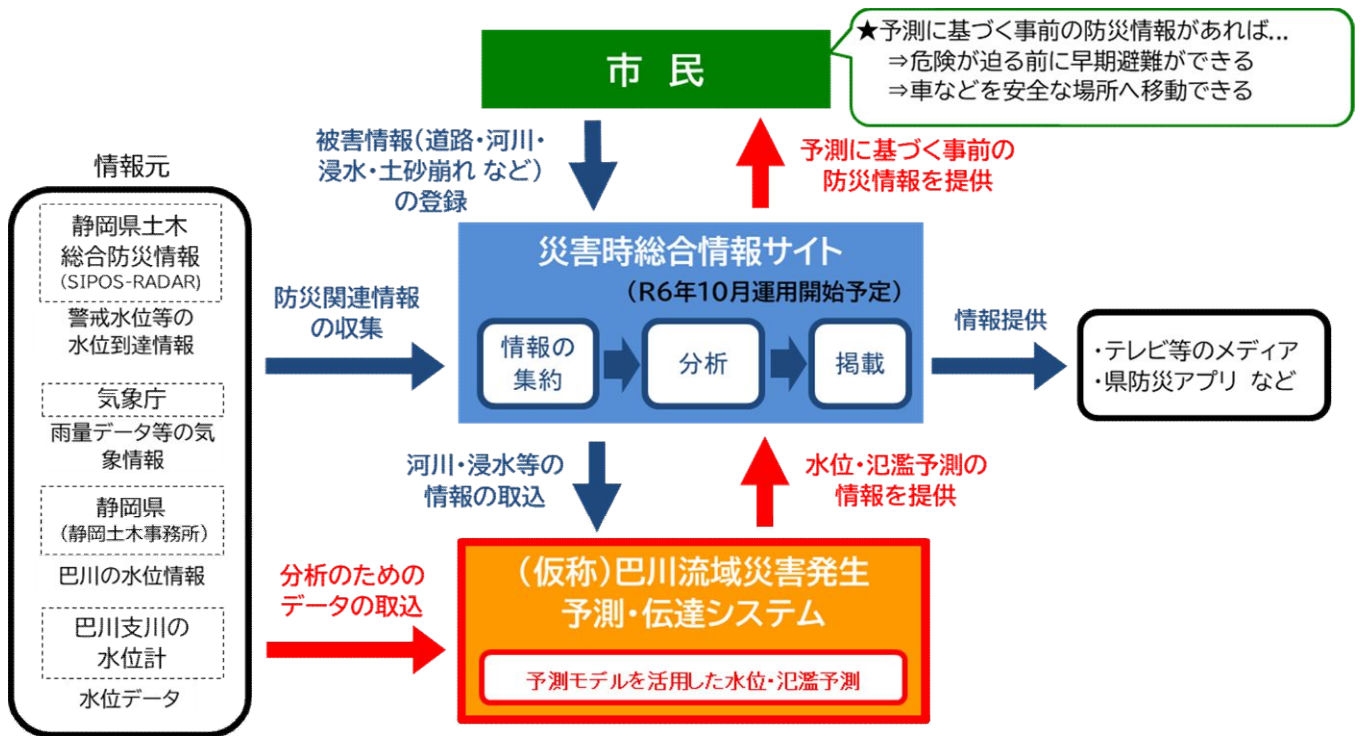
(単位:千円)

事業名	巴川流域治水対策等事業				
	事業費	国・県	市債	その他	一般財源
補正額	89,500		19,200		70,300
目的	巴川流域等における治水対策の強化や災害発生時の避難行動につながる防災情報を早期に発信することで、市民の安全・安心の確保を図る。				
1 内容	<p>1 巴川流域等の新たな治水対策の検討 20,000千円 流域全体の脆弱性の分析に基づき、遊水地等の既存施設の運用方法の見直しといった即効性のある新たな対策や、中長期的な視点による対策を検討する。 検討した対策は、早急に治水対策に反映するとともに、巴川の河川管理者である県が所管する施設に関する対策については、県に対して提案する。</p> <p>2 (仮称)巴川流域災害発生予測・伝達システムの検討 69,301千円 ①早期避難や車などの早期移動が可能となる事前の防災情報を発信する体制の構築を目指し、気象予報、雨量、河川水位等を基に、予測モデルを活用した水位・氾濫を予測するシステムの導入に向けた検討を行う。 ・令和5年度 システム導入検討 ・令和6年度 設計・構築 ・令和7年度 運用開始予定</p> <p>②予測のために必要な水位計の設置 設置箇所 巴川支川のうち市管理10河川12か所 (大正寺沢川、四方沢川、和田川など)</p> <p>3 (仮称)巴川流域等治水対策研究会の開催 199千円 外部アドバイザーを加え、上記1、2を検討するための研究会を開催</p>				



台風15号における巴川流域の浸水区域

■	台風15号浸水区域 (巴川流域)
■	【県管理】巴川本川・大谷川放水路
■	【県管理】巴川支川
■	【市管理】巴川支川 (水位計設置河川)
■	【市管理】雨水幹線
■	【県管理】遊水地



(仮称) 巴川流域災害発生予測・伝達システムの活用イメージ図

【主な個別事業の概要】

(単位:千円)

	事業名	建設発生土受入地確保事業				
	補正額	事業費 10,000	国・県	市債	その他	一般財源 10,000
	目的	安全性の高い建設発生土の受入地を市内に確保することで、市内で発生する建設発生土の安定的かつ円滑な受け入れを図る。				
2	内容	<p>建設発生土の受入地を民間から公募し、有識者の知見も踏まえて安全性を検証するとともに、許可申請等を支援</p> <p>・実施内容 ①方針・公募要領の作成 ・本市における今後の建設発生土の処理等に関する方針を作成する。 ・公募条件等を検討し、要領を作成する。</p> <p>②受入候補地の公募 ・市ホームページなどにより民間受入地を公募する。</p> <p>③周辺影響調査等に基づく安全性の検証 ・3次元点群データなどで地形を把握し、周辺環境や周辺住宅等への影響を推定し、有識者の知見を踏まえた安全性の検証を行う。</p> <p>④許可申請等の支援 ・大規模な盛り土を行う事業者が許可を得るために必要な様々な手続等の支援を行う。</p> <p>・参 考 本市発注工事における建設発生土の年間平均処分土量 約12万m³ 令和4年の台風15号被害の際の処分土量 約20万m³</p>				

D その他

572,892 千円

(1)社会基盤整備


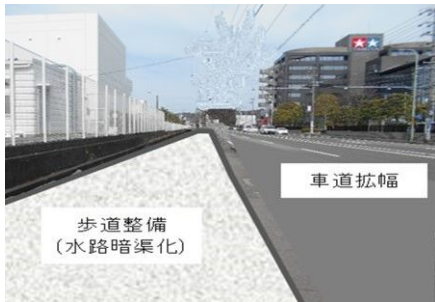
485,810 千円

【要旨】

- 国庫補助の認証増に伴う社会基盤整備として、道路拡幅や歩道整備等を実施することで、アクセスの向上や安全性の確保を図る。

【主な個別事業の概要】

(単位:千円)

1	事業名	道路新設改良事業				
	補正額	事業費	国(5.5/10、1/2、1/3)	市債	その他(繰入金)	一般財源
		315,627	169,510	130,100	11,000	5,017
	目的	新東名高速道路、東名高速道路、(国)1号静岡バイパス、清水港などを繋ぐ道路ネットワークを形成することで、産業や観光の活性化を図る。				
	内容	<p>アクセス向上などのため、中野小鹿線など5道路で道路拡幅等を実施</p> <p>(主な対象路線)中野小鹿線(168,000千円) 大型車の交通量増に伴う安全性の確保や、右折待機による渋滞防止のため、水路暗渠化により、車道を拡幅し、右折帯を設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間 令和2～6年度(令和7年度供用開始予定) ・実施内容 車道拡幅工事(50m:当初分30m、補正分20m) ※令和6年度は車道拡幅工事、信号機移設等を実施予定 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>整備前</p>  <p>開渠</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p>整備後 (イメージ)</p>  <p>歩道整備 (水路暗渠化)</p> <p>車道拡幅</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">中野小鹿線 (車道拡幅工事)</p>				
2	事業名	交通安全施設整備事業				
	補正額	事業費	国(5.5/10、1/2)	市債	その他	一般財源
		163,536	88,794	67,100		7,642
	目的	歩行者などが安心して通行できる道路空間を整備することで、安全性の向上を図る。				
	内容	<p>歩行者などの安全性確保のため、御幸町鷹匠町2号線など10路線で歩道整備等を実施</p> <p>(主な対象路線)御幸町鷹匠町2号線(葵区御幸町～鷹匠町一丁目)(47,000千円) 歩行空間を確保し、通行の安全性向上を図るため、無電柱化による歩道整備を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間 平成31～令和8年度 ・実施内容 電線共同溝工事(30m:当初分なし、補正分30m) ※令和6年度以降は電線共同溝工事、歩道整備を実施予定 				
3	事業名	道路自然災害防除事業				
	補正額	事業費	国(1/2)	市債	その他	一般財源
		60,000	30,000	27,000		3,000
	目的	道路法面の落石や崩壊等の自然災害の発生を未然に防止することで、安全性の向上を図る。				
	内容	<p>通行の安全性確保のため、(主)井川湖御幸線で道路法面の落石防止対策を実施</p> <p>(対象路線)(主)井川湖御幸線(葵区中沢(西山)) 山間地の道路における通行の安全性向上を図るため、道路法面の落石防止対策を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間 令和3～5年度 ・実施内容 落石防護網設置工事(100m:当初分なし、補正分100m) 				

(2)その他

87,082 千円

【要旨】

- 新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた静岡市交流会を令和元年以来、4年ぶりに開催することで、首都圏の本市関係者との人的ネットワークを再構築するとともに、本市の情報の発信・収集機能の強化を図る。
- 国指定史跡「小島陣屋跡」について、史跡の価値を後世に継承するとともに、来訪者の増加を図るため、馬場跡の公有地化に向けた調査を実施し、史跡の追加指定や陣屋との一体的な整備を行う。

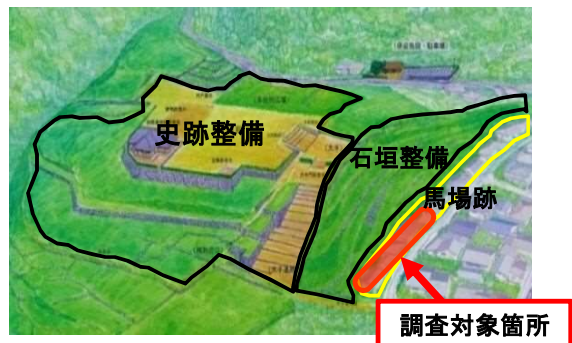
【主な個別事業の概要】

(単位:千円)

1	事業名	静岡市交流会開催事業				
	補正額	事業費	国・県	市債	その他(諸収入)	一般財源
		6,600			1,400	5,200
目的	首都圏の人的ネットワークを強化・拡大することで、本市の情報発信・収集機能を強化する。					
内容	首都圏の本市関係者を対象とした静岡市交流会を開催 ・時 期 令和5年12月中旬 ・場 所 都市センターホテル(東京都千代田区平河町) ・参加者 300人 ・実施内容 トークセッション、市のPRブースの設置、市産食材・酒類を活用したPR					
2	事業名	史跡小島陣屋跡保存整備事業				
	補正額	事業費	国・県	市債	その他	一般財源
		7,900				7,900
目的	国指定史跡「小島陣屋跡」の整備を進めることで、当該史跡の価値の保存と活用を図る。					
内容	国指定史跡「小島陣屋跡」に追加指定する馬場跡の公有地化に向けた調査を実施 ・所在地 清水区小島本町 ・調査内容 用地測量、物件調査、不動産鑑定評価 ・対象面積 約600㎡ 【小島陣屋跡の概要】 小島藩の藩主瀧脇松平氏が政治と生活をした陣屋(3万石以下の城をもたない大名の屋敷)の跡地。3mを超える石垣をもつ城郭風のつくりや御殿建物の一部が現存しており、江戸時代の陣屋の構造等を知る上で貴重であることから平成18年に国指定史跡に指定された。					



静岡市交流会



国指定史跡「小島陣屋跡」